



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「ごみのリサイクル率」と「留学生数の推移」です。



ごみのリサイクル率

検索



留学生数の推移

検索



ごみのリサイクル率

新年を迎えるにあたり、各家庭や事業所で年末の大掃除を行い、たくさんのごみが出てきたと思います。その「ごみのリサイクル率(※)」を市町村別に見てみると、鹿児島県大崎町が80.0%で8年連続となる全国1位となっています。

大崎町の高いリサイクル率の背景にあるのは、「町と住民が一体となった取り組み体制の構築」です。大崎町では1998年の分別回収の取り組み開始にあたり、自治体職員全員で住民に分別回収の必要性等を説明して回るとともに、実際に全ての回収場に行って分別方法の指導も行ったそうです。その結果、住民主体で分別回収を進める衛生自治会が各地域に立ち上げられるなど、住民の積極的な協力も得られるようになり、現在では27品目にわたるごみの分別回収が定着しています。

自治体と住民が一体となって地域の課題解決に取り組む。これは地方創生を実現していく上でも必要不可欠な要素です。

(※ごみのリサイクル率(%)=再生利用量(中間処理前の直接資源化量+中間処理後の再利用量+住民団体等による廃品回収等の集団回収量)÷ごみの総排出量(ごみの総処理量+住民団体等による廃品回収等の集団回収量)×100)

ごみのリサイクル率上位10市町村(平成25年度)

市町村	ごみのリサイクル率		
1位 鹿児島県 大崎町	80.0%	6位 北海道 本別町	60.9%
2位 鹿児島県 志布志市	76.8%	7位 山形県 鮭川村	59.8%
3位 徳島県 上勝町	76.4%	8位 北海道 興部町	59.8%
4位 福岡県 大木町	63.6%	9位 北海道 鹿追町	58.7%
5位 北海道 小平町	63.5%	10位 北海道 陸別町	58.0%
		全国平均	20.6%

(出所:環境省資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

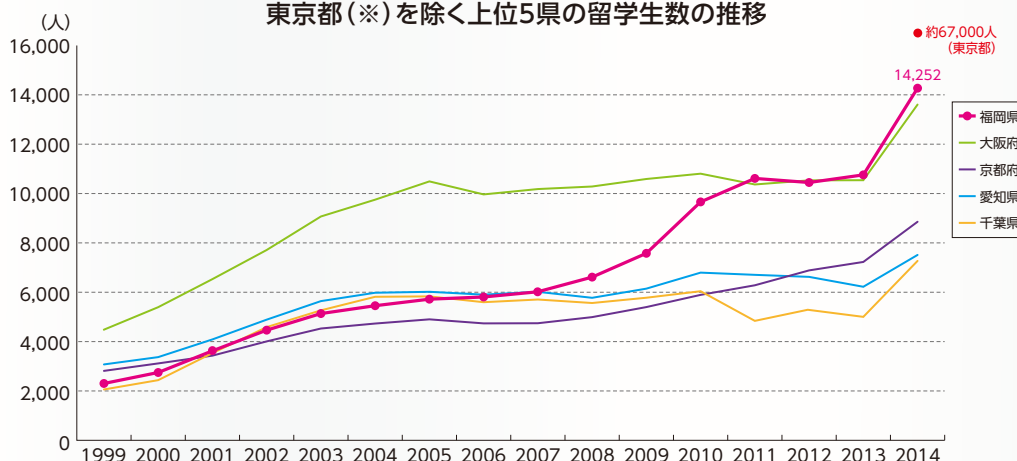
留学生数の推移

日本に來ている外国人留学生数を都道府県別に見てみると、福岡県が全国第2位となっています。

福岡県は2008年以降急増していますが、その背景には地元の産学官が立ち上げた「福岡県留学生サポートセンター」の存在が挙げられます。本センターは留学生の誘致から、アルバイトの紹介を始めとした留生活の総合的サポートまでをワンストップで行うとともに、10カ国語に対応したホームページ等を通して福岡の良さを積極的にPRするなど、留学生の来福増加に大きく貢献してきました。中国を始めとしたアジア各国から近く、かつ大都市圏より比較的物価が安いことも福岡が選ばれている理由の一つだと考えられます。

外国人留学生は日本と海外を結ぶ架け橋となり得る貴重な人材であり、今後の福岡と海外との交流・ビジネスのさらなる活性化に繋がっていくことが期待されます。

東京都(※)を除く上位5県の留学生数の推移



(※)1位の東京都の留学生数は約6万7千人(2014年)

(出所:独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 底堅く推移している

福岡県の景気は、底堅く推移しています。

生産は、四輪自動車等が増産となった輸送機械や、半導体製造装置の生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、「貸家」が前年を下回ったことから、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

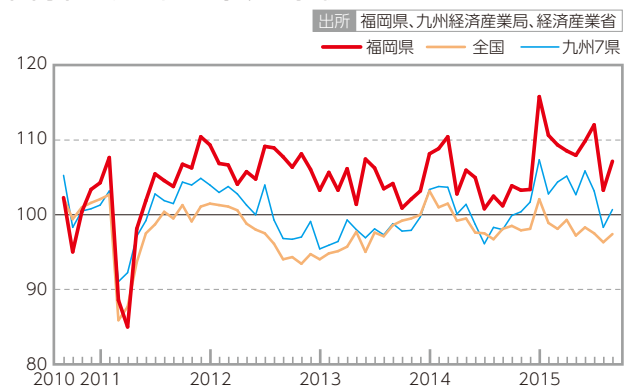
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は107.2と前月比3.8%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車等が増産となった輸送機械や、半導体製造装置の生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

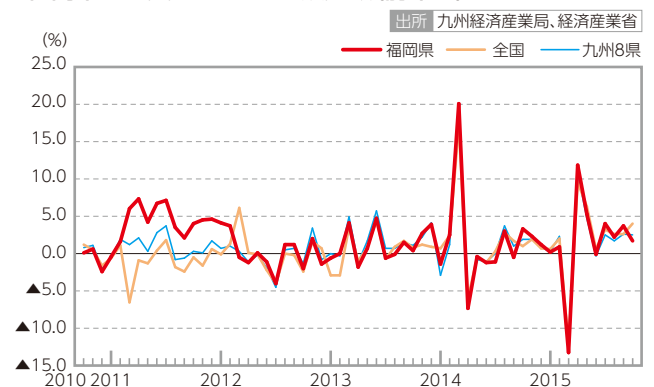


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.7%増の553億円となりました。

主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



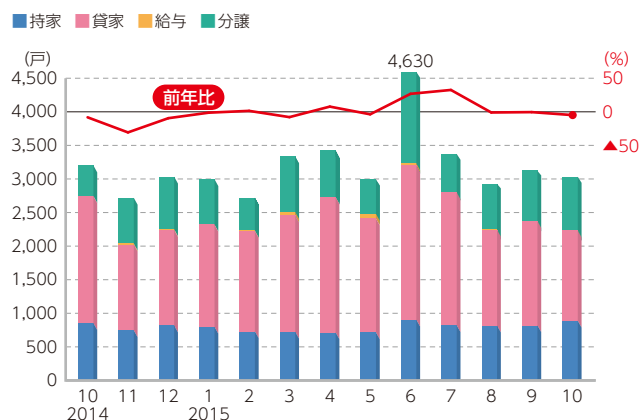
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を下回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.2%減の3,056戸となりました。

「持家」「分譲」が前年を上回ったものの、「貸家」が前年を下回ったことから、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



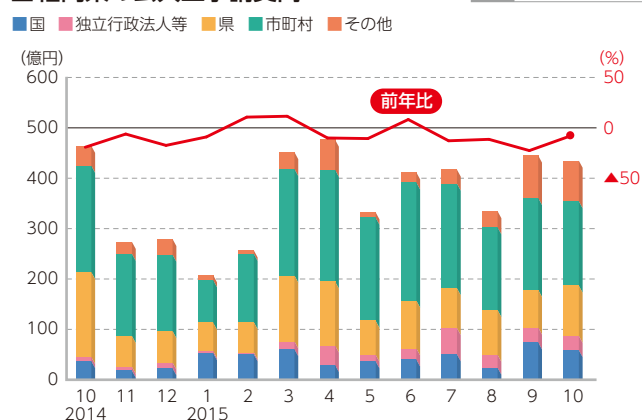
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.5%減の1,058件、金額が同8.6%減の432億円となりました。

発注者別では、トンネル新設工事の大型案件があった「国」等が前年を上回りましたが、「県」「市町村」が前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



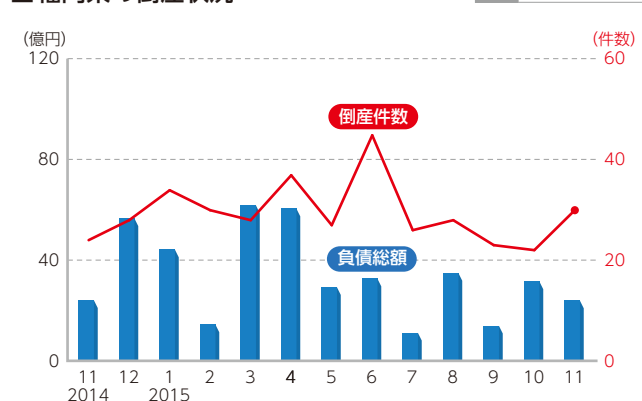
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%増の30件、負債総額は同0.5%減の約24億円となりました。

電気機器販売業で5億円、運送業で4億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 底堅く推移している

熊本県の景気は、底堅く推移しています。

生産は、集積回路が増産となった電子部品・デバイスや、特殊産業機械の生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回った他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

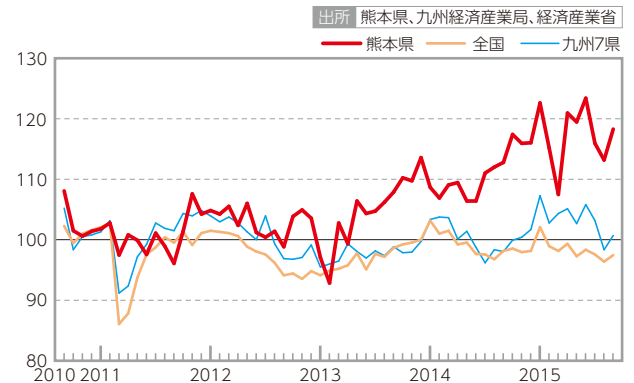
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は118.6と前月比4.6%上昇しました。

主要業種では、集積回路が増産となった電子部品・デバイスや、特殊産業機械の生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

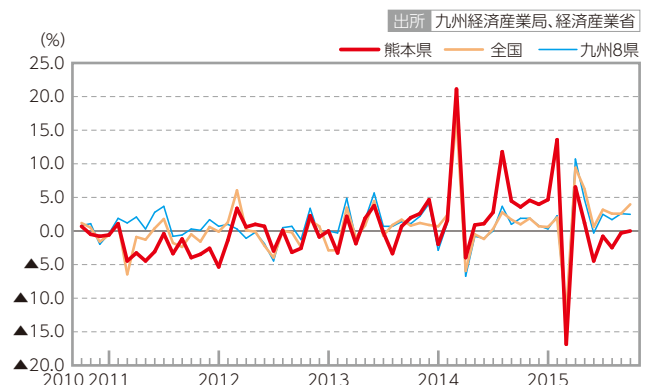


2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月とほぼ同額の129億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回った他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



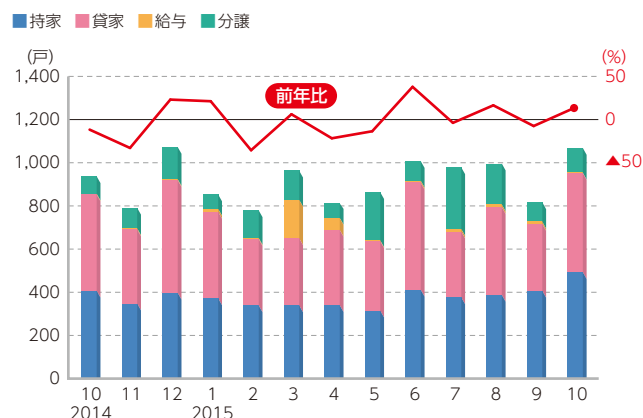
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.1%増の1,077戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



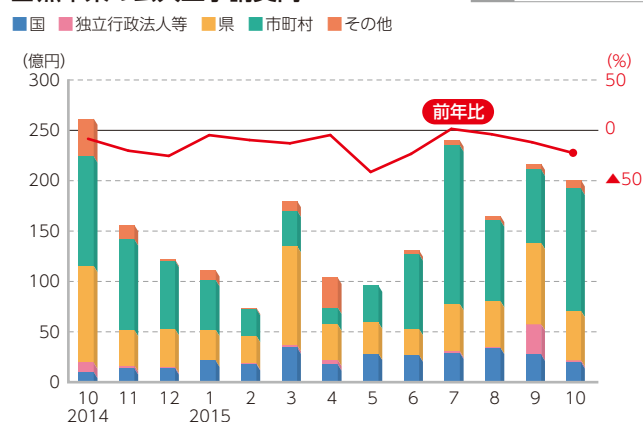
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比28.4%減の589件、金額が同23.4%減の202億円となりました。

発注者別では、ダム工事のあった「国」や、学校校舎新築工事等の大型案件があった「市町村」は前年を上回りましたが、「県」等が前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



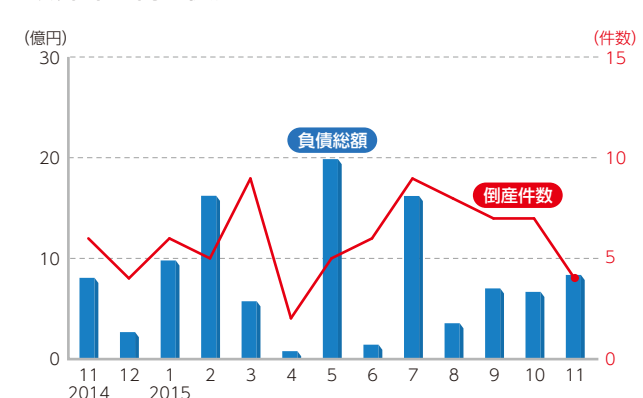
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の4件、負債総額は同3.5%増の約9億円となりました。

建設業で約7億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

長崎県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、前月まで続いた大幅な低下の反動により上昇したものの、小幅にとどまり、基調としては弱含んでいます。個人消費は、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

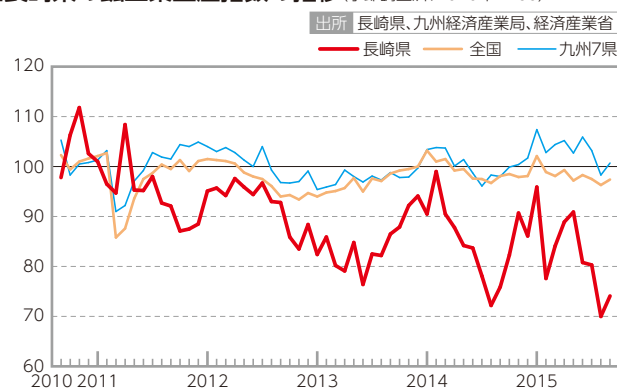
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は74.1と前月比5.9%上昇しました。前月まで続いた大幅な低下の反動により上昇したものの、小幅にとどまり、基調としては弱含んでいます。

主要業種では、交流発電機が増産となった電気機械や、半導体集積回路の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇しました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

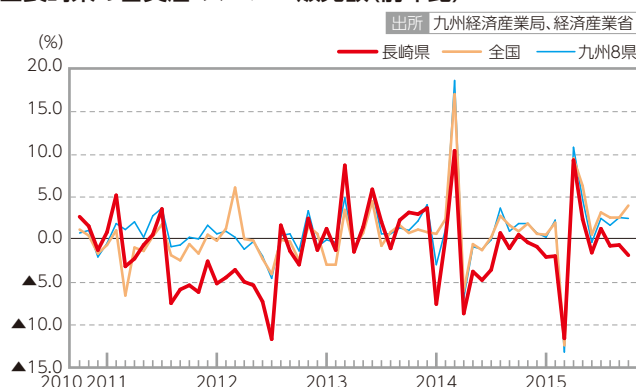


2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.8%減の89億円となりました。

衣料品や飲食料品が振るわなかったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





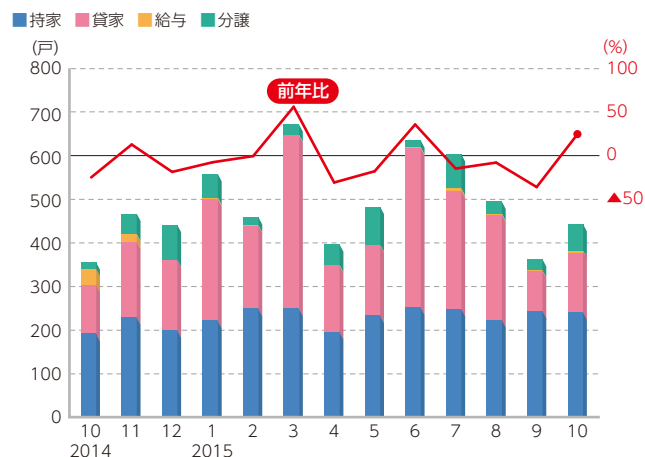
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比24.9%増の447戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



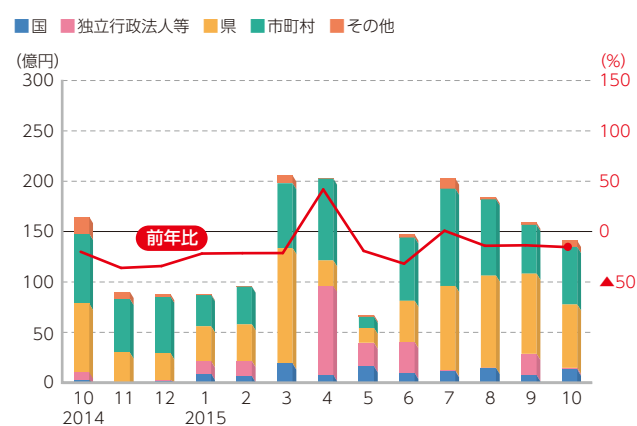
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.8%減の454件、金額が同15.8%減の143億円となりました。

発注者別では、防衛施設関連工事等の発注があった「国」が前年を上回りましたが、「県」「市町村」等が前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



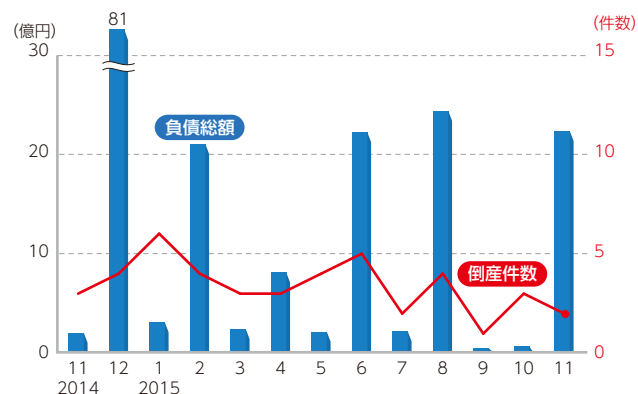
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は約22億円となりました。

ホテル業で約22億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

佐賀県の景気は、持ち直しの動きがみられます。

生産は、土木建設機械の生産が増加した一般機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。個人消費は、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも6ヵ月連続で前年を上回りました。

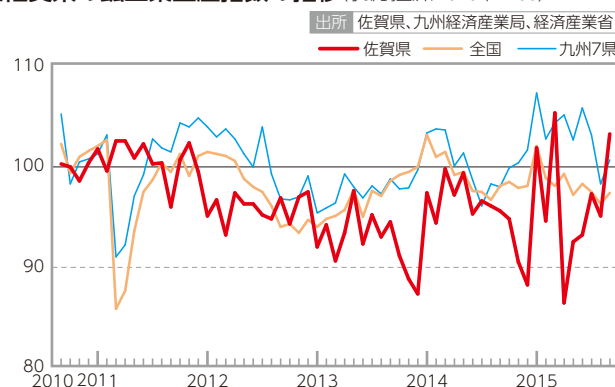
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.3と前月比8.6%上昇しました。

主要業種では、土木建設機械の生産が増加した一般機械や、塗料が増産となった化学が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

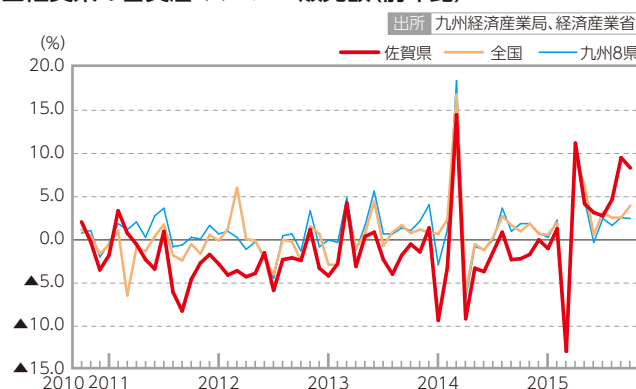


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比8.4%増の54億円となりました。

主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





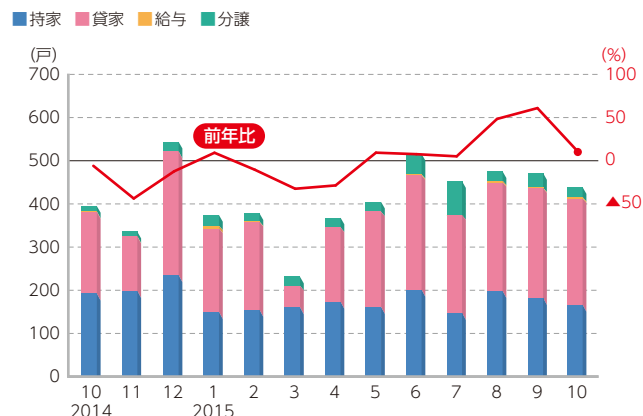
3.住宅建設 | 6ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.1%増の442戸となりました。

「持家」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも6ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



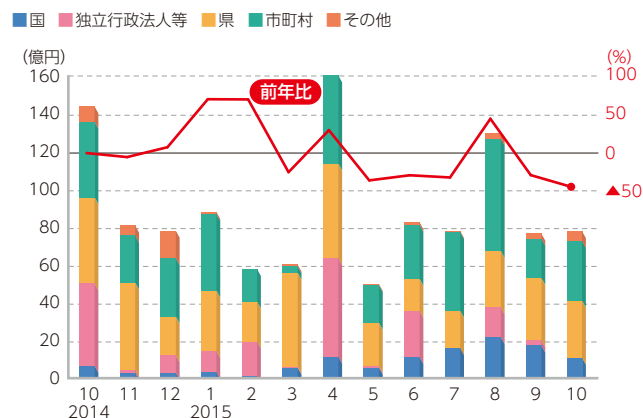
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.3%減の310件、金額が同45.9%減の79億円となりました。

発注者別では、防衛施設関連工事等の発注があった「国」が前年を上回りましたが、「県」「市町村」等が前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



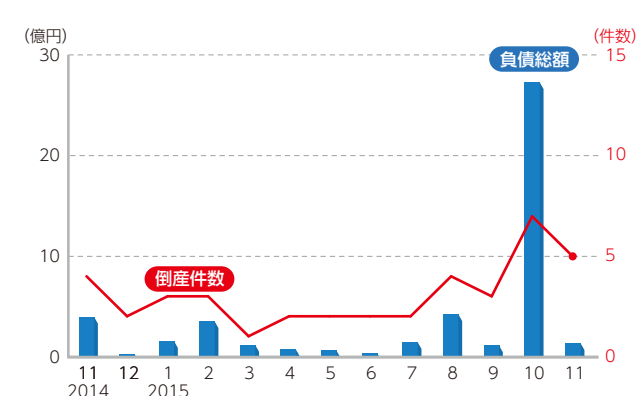
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%増の5件、負債総額は同65.9%減の約1億円となりました。

負債総額は低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

大分県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、弱含んでいます。個人消費は、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「貸家」「分譲」が前年を上回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

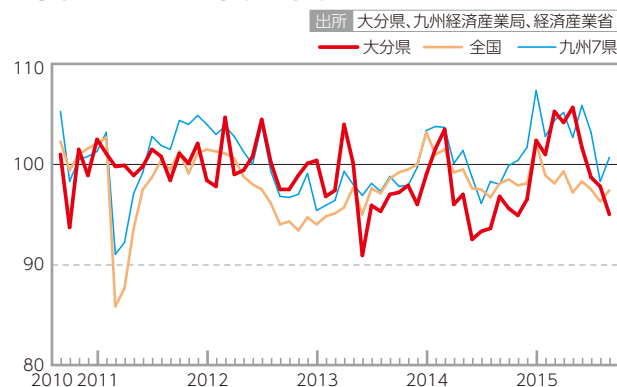
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.0と前月比2.9%低下しました。

主要業種では、クレーンが増産となったはん用・生産用・業務用機械は上昇したものの、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含んでいます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

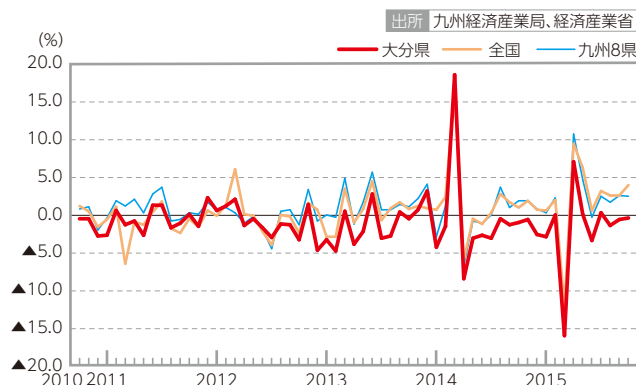


2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.4%減の90億円となりました。

主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





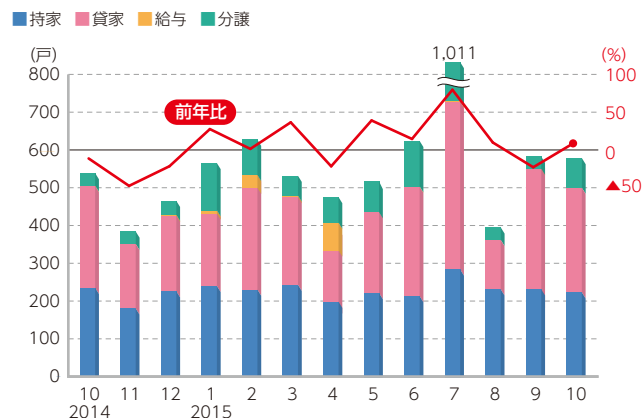
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.4%増の583戸となりました。

「持家」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を上回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



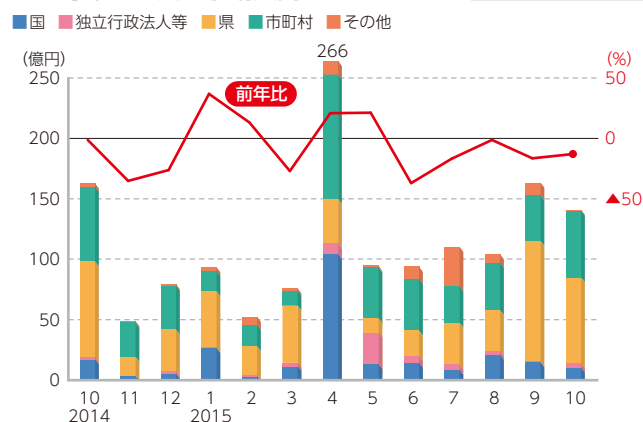
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同数の494件、金額が同13.4%減の142億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「国」「県」「市町村」等が前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



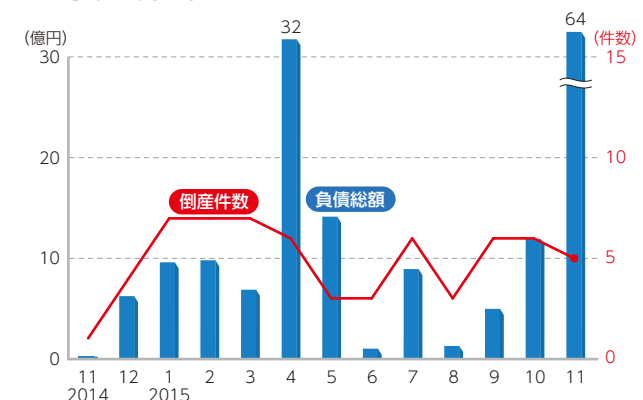
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が5件、負債総額は約64億円となりました。

ゴルフ場で約63億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 減速の兆しがみられる

宮崎県の景気は、減速の兆しがみられます。

生産は、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、主力の衣料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「貸家」が前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

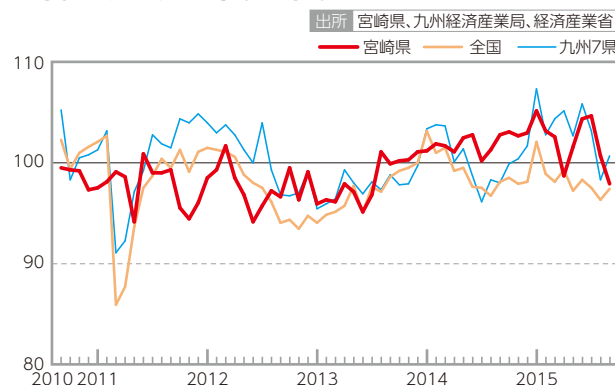
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.9と前月比2.8%低下しました。

主要業種では、部分冷凍肉が増産となった食料品が上昇したものの、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

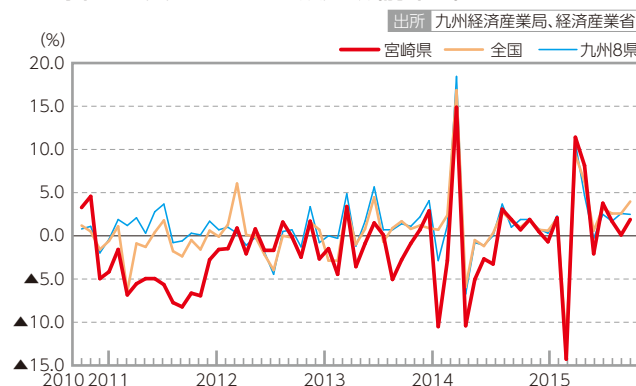


2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.9%増の60億円となりました。

主力の衣料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



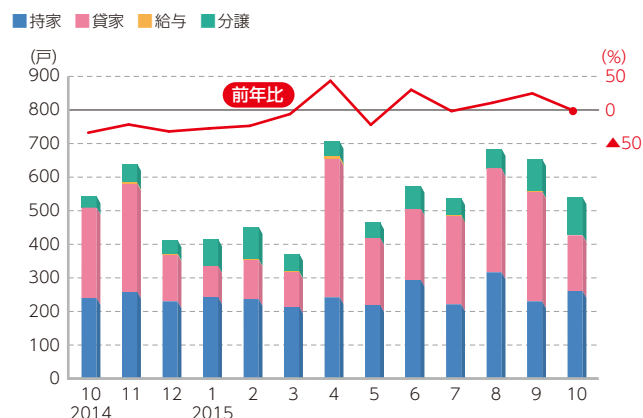
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.5%減の544戸となりました。

「持家」「分譲」が前年を上回ったものの、「貸家」が前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



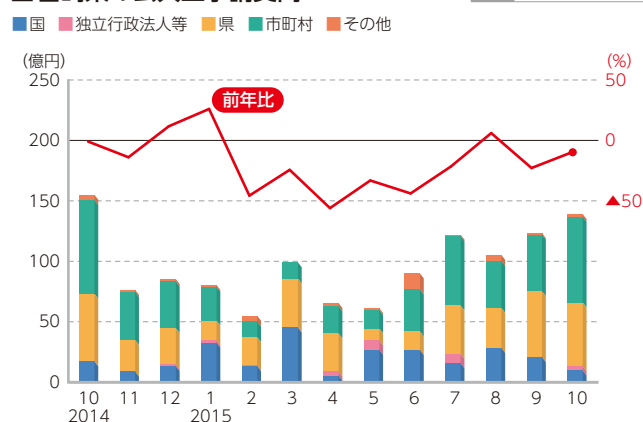
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.9%減の573件、金額が同10.3%減の141億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「独立行政法人等」以外は前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50%増の3件、負債総額が前年同月比57.4%減の約1億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

鹿児島県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、スマートフォン関連部品の生産が減少した窯業・土石製品が低下する等、弱含んでいます。個人消費は、主力の衣料品や飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」が前年を上回ったことから、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

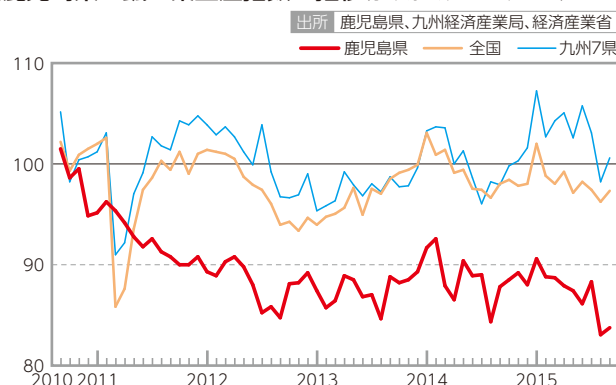
(諸限 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は83.7と前月比0.8%上昇しました。

主要業種では、スマートフォン関連部品の生産が減少した窯業・土石製品が低下する等、弱含んでいます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

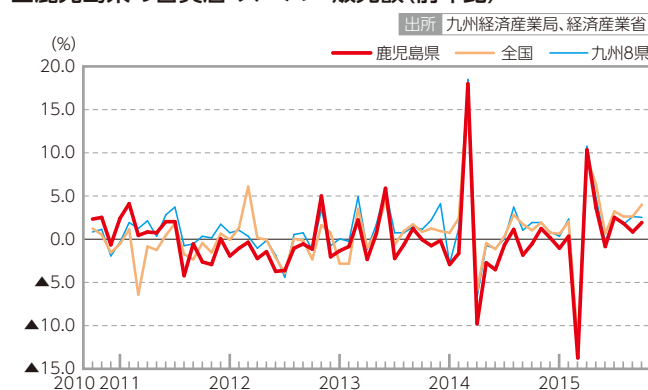


2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.9%増の131億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





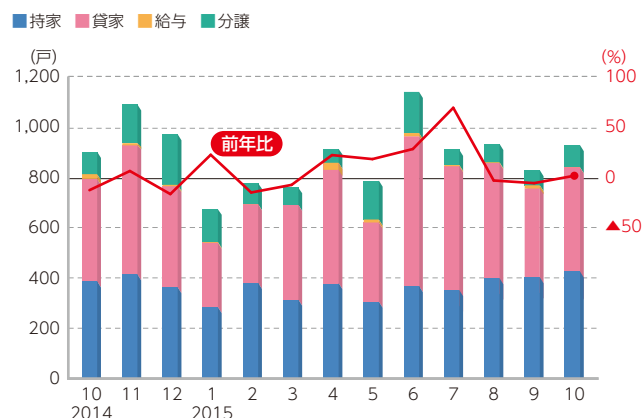
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比3.0%増の942戸となりました。

「分譲」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」が前年を上回ったことから、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



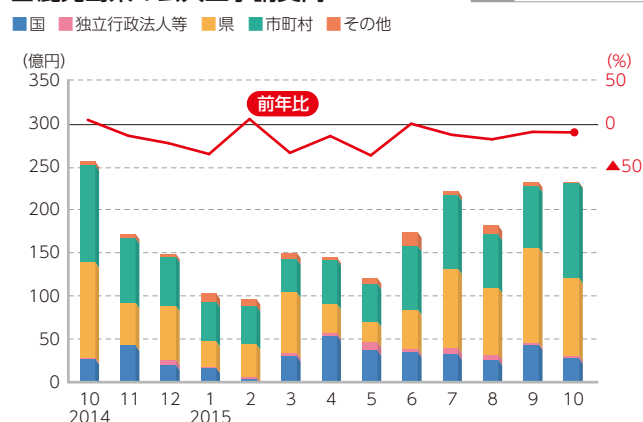
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.6%増の817件、金額が同9.3%減の234億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「県」「市町村」等が前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比42.9%減の4件、負債総額は同48.1%増の約9億円となりました。

旅行代理業で5億円、水産物加工業で約3億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

